

選定に必要な資料

(種目名 英語)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<p>・各学年のUnit数及び総ページ数は, 1年11Unit151ページ, 2年7Unit151ページ, 3年6Unit151ページであり, 余裕を持って指導できるよう配慮されている。</p> <p>・Unitの基本本文が, Unitの基本練習とUnit学習後のDaily Scene, Presentationで繰り返し扱われ, 基礎・基本の定着に適した構成になっている。</p>	<p>・Unit (基礎の定着) で学んだことを Daily Scene (場面別のコミュニケーション活動) で実際に使い, Presentation (テーマ別の自己表現活動) につなげる規則性のある3部構成になっており段階を踏んで発信まで指導できる優れた構成になっている。</p> <p>・Unitタイトルの下に文法と活動の目標が示され, 見通しをもって学習できるよう工夫されている。(全学年p2-3)</p>	<p>・ことば, 伝統文化, 異文化, 自然, 科学, 社会, 人間理解など, 他教科, 道徳, 総合的な学習の時間との関連を意識した題材が取り上げられ, 学習効果が高まるように工夫されている。(2年p68-75, p118-121)</p> <p>・Unit末のアクティビティ, Daily Scene, Presentationにはペアやグループ活動が設定され, 生徒が主体的に学習できる配慮がなされている。</p>	<p>・補充リーディング教材が2, 3年にあり, 3年の長文は400~500語程度で高校入試に対応した長さとなっている。(3年p150-151)</p> <p>・各Unit冒頭の「学習の目標」の到達度をUnit末の練習問題Activityの中で活動を通して確認することができるよう工夫されている。(2年p22-31)</p> <p>・Daily Sceneでは, 直前のUnitで習得した言語材料を実際に活用し定着を確認する構成となっている。(2年p78-79)</p>	<p>・Unitのthinkでは, レベルに合わせて選択可能な課題が示されており, 発展的な学習につながる工夫がなされている。(2年p29)</p> <p>・巻末の補充語彙へのリンクが本編の随所に示され, 表現の幅を広げる工夫がなされている。(2年p136-137)</p> <p>・「学び方コーナー」では, 表記法など生涯英語を学び続けるためのコツが3学年を通じて解説されており, 生徒が主体的に自学自習できる工夫がなされている。(1年p115)</p>	<p>・1年冒頭に2つの入門期パート(小学校の復習7ページ, 中学校への導入6ページ)があり, 4技能のバランスをとりながら小中の円滑な接続を図る配慮がなされている。</p> <p>・本文, 基本本文, 基本練習それぞれのパートが見やすいゆとりある紙面になっている。</p>	<p>・Unitは3学年を通してすべて見開き構成で学習要素が定位置にあり, 学習効果を高めるレイアウトになっている。</p> <p>・3学年を通して五大陸11カ国から題材を取り上げ, 言語や文化に対する理解を深める工夫がなされている。また, 同じ国やテーマが複数の側面から扱われており, 生徒の興味・関心や見方を深める点で優れている。(2年p6-15)</p>
D 開隆堂出版	<p>・各学年のPROGRAM数及び総ページ数は, 1年11PROGRAM151ページ, 2年12PROGRAM151ページ, 3年9PROGRAM143ページである。</p> <p>・My Projectでは生徒が自分で問題解決しながら協同学習できる構成になっており, 生徒の思考力, 判断力, 表現力を引き出す工夫がなされている。</p>	<p>・Basic Dialogとすぐ後にある「聞く」「話す」活動を通して, 基礎・基本をしっかりと習得し, 本文の学習に向かうので, 段階を追った学習を進めることができる。また, POWER-UPやMy Projectが効果的に配置され, 4技能をバランスよく育成できる構成となっている。</p>	<p>・題材に関する情報がイラストだけでなく写真で提示してあり, 状況をイメージしやすくなっている。(3年p47)</p> <p>・環境問題や異文化理解, 人権問題など生徒の興味や関心を引く題材が多く用意されており, 生徒自ら考えさせる内容となっている。</p>	<p>・My Projectでは既習事項を使いながら, 学び合い学習を通して自己表現活動を行うのに適した構成となっている。また, 自己評価項目が設けられており, 活動の振り返りができるよう工夫されている。</p> <p>・多様な言語活動に活用できるアクションカード(1年巻末)があり, 生徒の興味や関心を高める工夫がなされている。</p>	<p>・各学年とも単元間に「英語のしくみ」が設けられ, 文法事項がわかりやすく整理され, 視覚的にも理解しやすいよう工夫されている。(3年P22-23)</p> <p>・音読マークが設けられ音読練習に意欲的に取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p>・各学年に3回設定されているMy Projectでは各単元で学習した言語材料を活用し, 4技能の統合的な活動が効果的にできるよう工夫されている。(2年p106-109)</p>	<p>・1年冒頭に2つの入門期パート(小学校の復習8ページ, 中学校への導入8ページ)があり, 4技能のバランスをとりながら小中の円滑な接続を図る配慮がなされている。</p> <p>・各単元の最後にあるPOWER-UPでは4技能の1つを焦点化し, 集中的にその定着が図れるよう工夫されている。</p>	<p>・PROGRAMは見開き構成で左ページにBasic Dialogと基本練習, 右ページに本文が配置されている。新言語材料を対話形式の中で使いながら学習できるように工夫されている。また, 表現活動My Projectにつながる書く活動が各PROGRAMに設定されており, 目標に向かって学習できるよう工夫されている。(3年p9)</p> <p>・各学年の巻末には, 4技能別に「できるようになったことリスト」が用意され, 見通しをもって学習したり復習したりできるよう工夫されている。</p>

選定に必要な資料

(種目名 英語)

No.2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
E 学校図書	<p>・各学年のLesson数及び総ページ数は1年9Lesson157ページ, 2年8Lesson163ページ, 3年7Lesson163ページで構成され, 余裕を持って学習, 指導できるよう配慮されている。</p> <p>・Lessonで学習したことを, すぐに復習・確認するためのReviewが設けられており, 基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫がなされている。</p>	<p>・1年生の最初の単元は小学校で親しんできたI like ~から導入し, 初期の段階からスムーズな言語活動が行えるように工夫されている。(1年p21)</p> <p>・各単元にはその課で学習した言語材料を「Review」で確認し, しつかりと定着を図れるように配慮されている。</p>	<p>・身近な話題から世界へと視野が広がるような様々な題材が写真やイラストと共に用意されており, 生徒の学習意欲を喚起するよう工夫されている。</p> <p>・各学年とも4回のProjectが設定されており各Chapterで学習した言語材料を活用しながら自己表現活動ができるよう配慮されている。</p>	<p>・各Chapterの扉には, 学習する表現が学習順に提示されており, そのChapterを通して, どのような力をつけることができるようになるのかがわかりやすく提示され, 見通しを持った学習や振り返りがしやすいよう配慮されている。</p>	<p>・Word Treeでは, 使用頻度の高い単語がテーマごとにまとめられ, よく使われる言い方と一緒に紹介されるなど表現の幅が広がるよう工夫されている。(2年p44-45)</p> <p>・各学年とも4つのChapterで構成され, 学習したことをそれぞれの章末にあるCheck it Outで確認することができるよう工夫されている。</p>	<p>・小学校の外国語活動から中学校の英語学習へスムーズにつながるようPre-lessonやLet's Startの内容が工夫されている。</p> <p>・Actionでは, 言語活動を通して基本文を習得できるよう工夫されている。(3年p16-17)</p>	<p>・基本文の導入時には必ず「聞く」「話す」「書く」活動が設定されており, 基礎・基本の定着を図られるよう工夫されている。(3年P69)</p> <p>・異文化理解, 環境問題, キャリア教育など幅広い内容を扱い, 生徒が考えを深められるよう配慮されている。(2年p78-82)</p>
F 三省堂	<p>・1年9Lesson, 2年8Lesson, 3年7Lessonの構成で, 全学年とも総ページ数は159となっており, 余裕を持って指導できるよう配慮されている。</p> <p>・各LessonのUSE Readでは, 読みを深めていくスモールステップのタスクや, 読んだ内容について考えるタスクが示されており, 多様な生徒の学習状況に応じて指導できる工夫がなされている。(3年p8)</p>	<p>・GETの基本文をDrillやPracticeで習得させそれらをUSEで活用し, 最後に「文法のまとめ」で確認する単元構成になっており, 学習のプロセスが分かりやすくなる工夫がなされている。(3年p12-20)</p> <p>・各Lessonの終わりにはLessonの内容との関連性が高いサブレッスンが設けてあり, 技能ごとに学習を深められるよう, 配慮されている。</p>	<p>・単元の最初のページに生徒の興味・関心・学習意欲を喚起する写真やイラストと共に, 単元のねらいが明示してあり, 学習の見通しが持てるよう工夫されている。(1年p87)</p> <p>・生徒目線の話題, 知的好奇心や感動を引き出す話題など, 多様な題材が取り上げられ, 生徒自ら課題意識を持って主体的に学習に取り組む力と豊かな心を育む工夫がなされている。(1年p129, 3年p122)</p>	<p>・本県出身の錦織選手を題材にした読み物は海外での不安の多い環境の中で高い目標を持ち, 困難な課題に挑戦しようとする姿勢の重要性をテーマとしている。本県の教育目標と関連性の高い内容であり, 言語を学ぶ上で心構えをもたせるのに適した内容となっている。(3年p108-111)</p> <p>・USEのWriteは文章作成のプロセス理解とグループ練習を経て最後に自分の力で書くという構成で, 効果的な英作文指導ができる。(3年p18-19)</p>	<p>・複数の単元の文法事項をまとめて振り返ることができるReviewや, 自学する際のヒントを示すFor Self-studyなど自律学習を促すコラムや付録があり, 自学自習への配慮がなされている。</p> <p>・学習した言語材料や複数の技能を統合的に活用するプロジェクトに設定されており, アクティブラーニング型の授業を行うことができ, 課題解決力を育む工夫がなされている。(3年p34-35)</p>	<p>・巻末のCAN-DOリストは, 年間の学習を通してどんな技能が身についたかを自己評価し, 学習を振り返る工夫がなされている。</p> <p>・全学年とも読みやすい書体で書かれ, 読む文字と書く文字の違いによる混乱が起きない工夫がなされている。</p>	<p>・学び, ことば, 伝統文化, 異文化, 自然, 社会, 人間理解など, 他教科, 道徳, 総合的な学習の時間との関連を意識した題材を用いて学習できるよう工夫されている。(3年p69-77)</p> <p>・1年の最初の3課は聞く活動から導入する構成になっており, 小学校外国語活動を踏まえた上で文構造を意識させた活動ができるよう工夫されている。</p>

選定に必要な資料

(種目名 英語)

No.3

記号	選定に必要な資料の観点					総括	
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫		(6) その他
G 教育出版	<p>・各学年のLesson数及び総ページ数は, 1年9 Lesson143ページ, 2年8 Lesson143ページ, 3年6 Lesson143ページである。</p> <p>・各単元はHop (聞く, 話す, 書く活動を通して習得と定着を図る) Step (読むことを通して習得と定着を図る) Jump (言語活動を通して知識・技能の定着を図る) の3段階で構成し, 基礎から実践的な活動まで行えるように配慮されている。</p>	<p>・1年で学校や家庭での生活など身近な題材を扱い, 学年が進むにつれて異文化理解や人権などが扱われ, 生徒の発達段階に応じた内容になるよう配慮されている。(2年p56, 3年p52)</p> <p>・ProjectではそれまでのLessonで学んだ知識を活用し, テーマに沿って考えたり, 話し合ったりできるようになっている。</p>	<p>・Projectは, 「自己紹介」「英語新聞」「自分の町ガイド」など書くことや, 「夢を語ろう」「卒業スピーチ」などの話すことを通して, 生徒同士の理解や関わりを深めながら意欲的に学習するための工夫がなされている。</p> <p>・本課の内容理解を助けるための資料としてCulture Notesが設けられており, 日本文化理解や異文化理解への興味関心を高める工夫がなされている。(1年p42)</p>	<p>・ブータンとスウェーデンの中学生の職業観を読んで自分の生き方を考える教材や世界で活躍する日本人スポーツ選手の外国語学習を題材にした教材などがあり, 夢や希望に向かって主体的に学ぶ生徒を育成するのに適している。(3年p72)</p> <p>・聞く, 読む, 書く, 会話を円滑にするコツを学ぶTipsというページが設けられている。</p>	<p>・各学年に別冊Essentialsが設けられており, 基本文を使ってペアで対話するPLUS Dialog, 設定された話題について話したり書いたりするPLUS Activity, 語句の練習を行うLet's Tryで自学自習できる工夫がなされている。</p> <p>・各学年付録「辞書について学ぼう!」によって, 辞書に慣れ, 自発的な学習につながるよう工夫されている。</p>	<p>・小学校の復習と中学校への導入を合わせた入門期のパートが16ページあり, 4技能のバランスをとりながら小中の円滑な接続を図る配慮がなされている。</p> <p>・「英語のしくみ」が1, 2年各7回3年4回設けてあり, 図解で文法や文構造の理解を促す工夫されている。</p>	<p>・各学年とも本冊と別冊で構成され, 別冊は家庭学習用としても活用でき, 繰り返し学習できる工夫がなされている。</p> <p>・学習到達目標を各パートの目標に掲げ, 巻末に自己チェックリストを設け, 4技能について自己評価ができるように, 工夫されている。</p>
J 光村図書出版	<p>・各学年のUnit数及び総ページ数は, 1年11 Unit167ページ, 2年9 Unit159ページ, 3年7 Unit151ページである。</p> <p>・図表・グラフ・地図などを含む文章が随所で扱われ, 情報的的確に読み取って判断する力を養えるように, 工夫されている。(2年p103, 118)</p>	<p>・1年は身近な学校生活, 2年は地域, 3年では世界の国々との交流の順に学年が進むにつれて話題が広がり, 3年間で系統的に配列されている。</p> <p>・言語活動は Try It! → You Can Do It! → Go for It! の順に発達段階と習熟度の向上に応じて少しずつレベルアップしていきながら配慮されている。</p>	<p>・CLILでは英語そのものを学ぶだけでなく, 他教科の内容を英語で学ぶことで生徒の知的好奇心に訴え, 教科横断的に思考力を養うことができるよう工夫されている。(1年p88, 2年p44, 102, 3年p34, 90)</p> <p>・Unitの扉, Unitのまとめの活動, 学期のまとめのページには学習到達目標がCAN-DO形式で示され, 見直しをもって学習に取り組んだり振り返りの参考にしたりすることができる工夫がなされている。</p>	<p>・各UnitのPartは, 本文を読み設問に答え, 聞く活動でインプットした後, 話す活動や書く活動でアウトプットを行う構成になっており, 4技能をバランスよく習得できる配慮がなされている。</p> <p>・各Unitの最後にあるYou Can Do It! では, 具体的で明確な24の場面設定を通して複数の技能を統合的に使うことができるよう, 工夫されている。(1年p128, 2年p32)</p>	<p>・Your Coachでは, 効率的な学習の方法や自律的な学習を継続できる工夫が具体的に提案され, 生徒が家庭でも自学自習できる工夫がなされている。(2年p89, 3年p38, p103)</p> <p>・「英語のしくみ」では, 文法や文構造のイメージがイラスト化され, 生徒が復習しやすくなるよう工夫されている。(3年p121, 123)</p>	<p>・サイズがA B判でゆとりのある紙面を生かして, 本文をタブレット型端末やメールの画面漫画形式で構成するなど, 親しみながら課題に取り組める工夫がなされている。(1年p112, 2年p30)</p> <p>・活動に十分な書き込み欄が作られ学びやすい紙面となっている。(1年p51)</p>	<p>・各Unitは, 3つのパート(本文, 言語活動Try It!, 4技能の活用You Can Do It!)から成り, 各学期末にプロジェクト型活動Go for It!とまとまった分量の英語を読むLet's Readが設定され, 各Unit, 学期, 学年のステップで到達目標を意識しながら学習が進められるよう配慮されている。</p> <p>・1～3年までの本文が一貫した物語で, 展開を期待しながら学習できるように工夫されている。</p>